

2. 人口・世帯

(1) 人口・世帯

人口は、昭和55年をピークに減少傾向にある。  
世帯数は年々増加している一方、1世帯当たりの人口は減少している。

平成17年国勢調査によると、人口は38,455人、世帯数は11,843世帯で、1世帯当たり人口は3.25人となっている。

黒石市の人口は、昭和45年以降著しく増加したが、昭和55年をピークに減少傾向へ転じた。特に、平成2年には-3.2%と大幅に減少したが、近年は大きな変動は見られない。また、世帯数は昭和40年以降増加し続けているが、人口の増減に関わらず1世帯当たりの人口は減少している。

表 1-2-1 人口と世帯数の推移

	総人口 (人)			人口増加率		総世帯 (世帯)			1世帯当たり人口 (人)
	都市計画区域内	都市計画区域外				都市計画区域内	都市計画区域外		
昭和40年	38,796			-5.5%		8,309			4.67
昭和45年	37,690			-2.9%		8,869			4.25
昭和50年	38,796			2.9%		9,645			4.02
昭和55年	40,755			5.0%		10,307			3.95
昭和60年	40,501			-0.6%		10,673			3.79
平成2年	39,213	38,635	578	-3.2%		10,775	10,616	159	3.64
平成7年	39,004	38,586	418	-0.5%		11,074	10,973	101	3.52
平成12年	39,059	38,549	510	0.1%		11,637	11,467	170	3.36
平成17年	38,455	37,961	494	-1.5%		11,843	11,691	152	3.25

出典 国勢調査各年版、都市計画基礎調査  
(平成2年以前の都市計画区域内外人口は不明)

出典 国勢調査各年版、都市計画基礎調査  
(平成2年以前の都市計画区域内外世帯は不明)

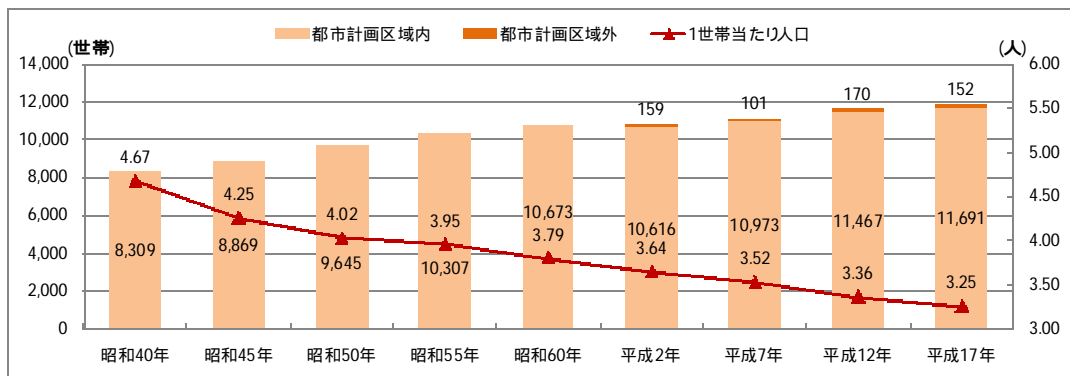
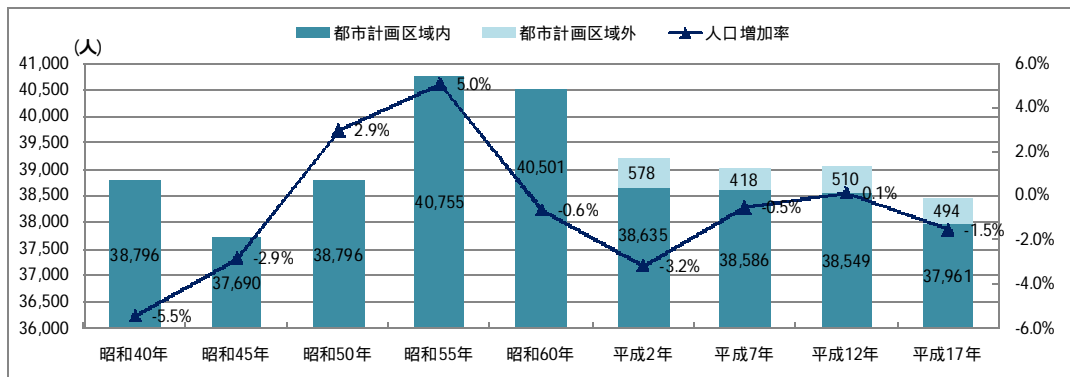


図 1-2-1 人口と世帯数の推移

(2) 人口構成

少子高齢化の傾向が顕著に表れている。

県全体と比較すると年少人口の割合がわずかに上回っている。(平成17年)

黒石市の年齢3区分別人口の推移を見ると、平成7年には年少人口と老年人口がほぼ同率、それ以降逆転し、少子高齢化の傾向が顕著に表れている。昭和40年と平成17年の人口比率を比較すると、年少人口は半減、老年人口は4倍近い値となっている。また、青森県全体の比率と比較すると、年少人口の割合がわずかに上回っている。

表 1-2-2 年齢3区分別人口の推移

単位：人

		総人口	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
黒石市	昭和40年	38,796	11,961	24,462	2,373
	昭和45年	37,690	10,127	24,739	2,824
	昭和50年	38,796	9,660	25,757	3,379
	昭和55年	40,755	9,561	27,093	4,101
	昭和60年	40,501	8,961	26,892	4,648
	平成2年	39,213	7,712	25,981	5,520
	平成7年	39,004	6,786	25,472	6,746
	平成12年	39,059	6,235	24,921	7,903
	平成17年	38,455	5,698	23,996	8,761
青森県(H17)		1,436,657	198,959	910,856	326,562

出典 国勢調査各年版

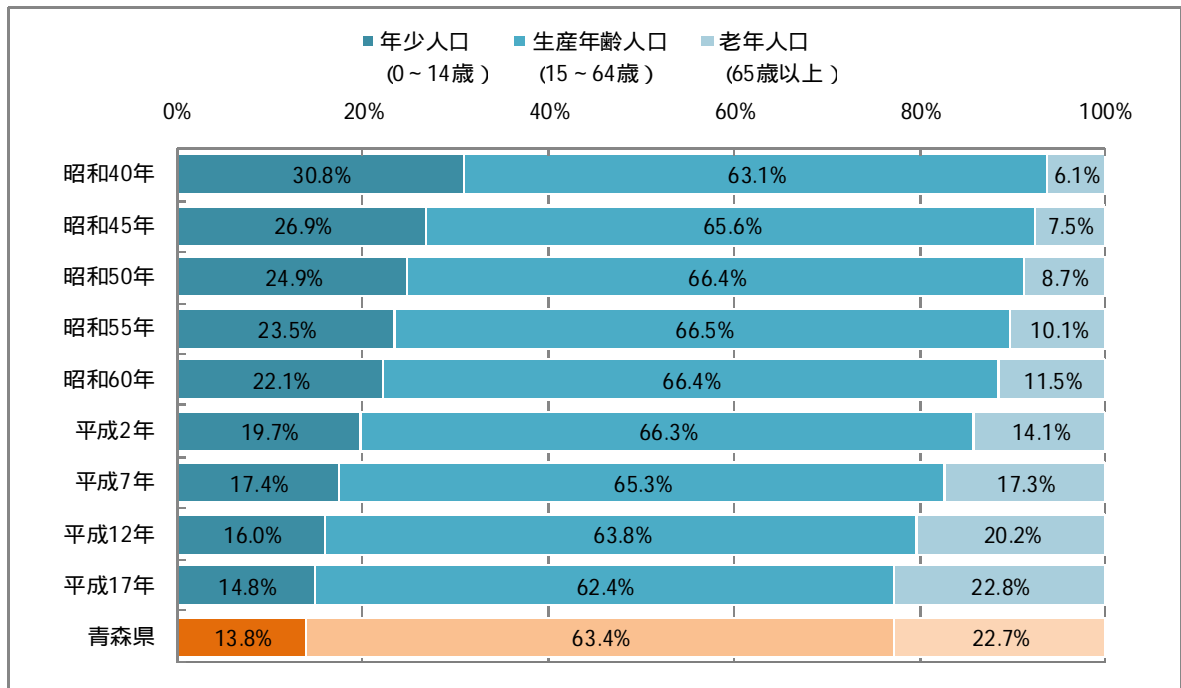


図 1-2-2 年齢3区分別人口比率の推移

(3) 通勤・通学流動

黒石市内で従業・通学する人が約7割。  
流入・流出とも青森市、弘前市、平川市が上位を占める。

平成17年国勢調査によると、黒石市内で従業・通学する人は約7割となっている。また、他市町村から黒石市へ通勤・通学する人より黒石市から他市町村へ通勤・通学する人が多く、流出人口が流入人口を上回っている。

黒石市からの通勤・通学先としては、弘前市、青森市、平川市の順に多く、流出人口の8割以上を占める。3市は流入人口でも上位を占めている。

表1-2-3 通勤・通学人口

単位：人

流出口				流入人口			
当地に常住する就業者・通学者		21,316	100.0%	当地に常住する就業者・通学者		19,434	100.0%
自市町村で従業・通学		14,390	67.5%	自市町村に常住		14,390	74.0%
他市町村で従業・通学		6,926	32.5%	他市町村に常住		5,044	26.0%
	第1位	弘前市	3,412 (49.3%)		第1位	平川市	1,374 (27.2%)
	第2位	青森市	1,387 (20.0%)		第2位	弘前市	1,342 (26.6%)
	第3位	平川市	1,139 (16.4%)		第3位	青森市	875 (17.3%)
	第4位	田舎館村	375 (5.4%)		第4位	田舎館村	570 (11.3%)
	第5位	藤崎町	273 (3.9%)		第5位	藤崎町	408 (8.1%)
	第6位	五所川原市	90 (1.3%)		第6位	大鰐町	147 (2.9%)
	第7位	大鰐町	82 (1.2%)		第7位	板柳町	100 (2.0%)
	第8位	板柳町	48 (0.7%)		第8位	五所川原市	76 (1.5%)

H17データを現在の市町村に組替え

出典：国勢調査平成17年

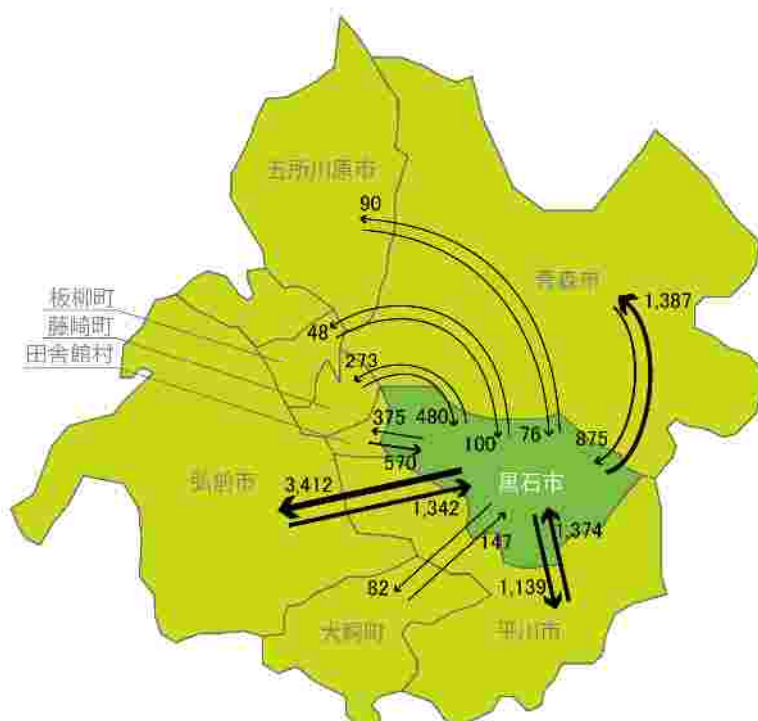


図1-2-3 通勤・通学人口